

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

新庄市長 山科 朝則

市町村名 (市町村コード)	新庄市 (205)	
地域名 (地域内農業集落名)	土内地区 (土内)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和6年12月12日 (第1回)	

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

土内地区の農家は、高齢化の影響によって離農者の増加が懸念され、後継者のいない農家の割合も高い。しかしながら、経営規模拡大意向がある農家もあり、地域内で将来の農地を担う者へ農地の集約を行い、継続的な地域営農を目指す。また高収益作物のネギの生産にも熱心に取り組んでいる地区でもある。

(2) 地域における農業の将来の在り方

地域の中心的担う者は5経営体ほどおり、その経営体が地域内農地を優先的に担っていくこととする。また、水稻の生産については、中心的担う者への集約を推進し、効率的な営農を地域として進めていく。また、転作畑作物のそばについては、地域の生産組合が担っていく。高収益作物であるネギの生産については、連作障害等を加味しブロックローテーションを実施しながら、作付面積の拡大に取り組んでいく。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	67 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	48 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

今後の地域計画の話し合いの中で、農用地区域については確認整理していく予定である。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

